資料３－１　中心市街地活性化の目標

中心市街地活性化の理念

出会い、暮らし、遊びが彩るまちづくり

中心市街地活性化の基本的な方針

- 都市基盤施設の活用促進
- 都心居住を愉しむ定住の促進
- 新しいビジネスチャンスが生まれるにぎわい交流拠点の確立
- 福井らしさを感じさせる魅力ある都市環境の創出
- 多様な手段で行動ができる交通体系の確立

官民一体となって継続的に活性化に取組む組織体制の整備等

中心市街地活性化の目標

目標１：訪れやすい環境をつくる（出会い）

JR 福井駅を中心として商業、業務等の都市機能が集積している特性を活かし、県内外との交通結節機能をより強化し、訪れやすい環境を整備する。また、次世代に向けた都市基盤施設を効果的に活用し、活発な民間投資を誘発し、県内外から訪れる多くの人が学び、働き、集い、交流し、楽しみ、活力を生み出す拠点を整備し、その活力が福井市全体さらに福井都市圏全体に波及するようなにぎわいのある中心市街地を形成する。

目標２：居住する人を増やす（暮らし）

今後の人口減少、少子高齢化時代の到来に対応し、多様な都市機能が集積している中心市街地において、都市の利便性を享受でき、多様なライフスタイル・ライフステージに対応し、高齢者を含む多くの人にとって、安全で安心して暮らせる中心市街地を形成する。

目標３：回遊したくなる魅力を高める（遊び）

歩道・オープンスペース等の歩行者空間の確保や誰もが歩きたくなる商業環境の整備、起業支援、戦略的なテナントミックスによる空き店舗の解消などの商業基盤の充実により、連続的な商店街整備を図るとともに、来街者の好奇心を刺激し回遊行動を誘発する魅力ある中心市街地を形成する。

数　値　目　標

- 中心市街地に訪れる人（中心市街地内の文化施設の利用者数＋中心市街地内の主なホテルの宿泊者数）
- 中心市街地内の居住人口（住民基本台帳人口）
- 中央１丁目１０地点歩行者通行量（休日）

①②の観点を追求する目標

プラス１時間楽しむまちづくり

※中心市街地活性化の目標

中心市街地の活性化は、中心市街地に蓄積されている歴史的・文化的資源、景観資源、社会資本や産業資源等の既存ストックを有効活用しつつ、地域の創意工夫をいかしながら、地域が必要とする事業等を、総合的かつ一体的に推進することにより、地域が主体となって行われるべきものであり、これを通じて次の目標を追求すべきである。

① 人口減少・少子高齢社会の到来に対応した、高齢者も含めた多くの人にとって暮らしやすい、多様な都市機能がコンパクトに集積した、歩いて暮らせる生活空間を実現すること。

② 地域住民、事業者等の社会的、経済的、文化的活動が活発に行われることにより、より活力ある地域経済社会を確立すること。

また、同時に、中心市街地における実態を客観的に把握し、効果的かつ効率的な民間及び公共投資を実施することにより、インフラの整備・維持管理コストの縮減、各種公共的サービスの効率性の向上等を実現することも追求し得るものである。

さらに、中心市街地の活性化による効果を周辺地域にも波及させることにより、様々な地域の活性化に結びつける必要があり、ひいては国民生活の向上と健全な発展を図らなければならない。

（「中心市街地の活性化を図るための基本的な方針」平成１８年９月８日閣議決定より）